

図書館だより

3月号

北名古屋市図書館
2026.3 発行



今月の特集

別れの先

もう会えない大切な人を思い出した時のさびしさ、失ってから気づく一緒にいられた何気ない日常の温かさ、別れは心を揺さぶられるものです。そんな悲しみに寄り添ったり、前へ進む勇気をくれたり、別れの多い季節にいろいろな別れとその先を描いた本をご紹介します。

一般書



独り言の多い博物館
標野凧/著
幻冬舎

新たな一歩を踏み出すために。大切な何かを取り戻すために。思い出の品をお預かりします。丘の上の「別れの博物館」に人々が思い出の品を預け、未練や執着から解放される物語。



別れの色彩
ベルンハルト・シュリンク/著
松永美穂/訳
新潮社

年齢を重ねた今だからわかる、あの日の別れの後悔、そして本当の意味を。男と女、親と子、友達や隣人。さまざまな人々のあの日の思い出を綴る、別れを題材にした九つの短篇小説集。



ぼくモグラキツネ馬
アニメーション・ストーリー
チャーリー・マッケジー/著
川村元気/訳
飛鳥新社

ぼくはモグラとキツネと馬と旅に出た。優しくされるのを待つんじゃなくて自分に優しくするのが一番の優しさ。どんなときでも、誰の心にも寄り添う一冊。

児童書



いつでも会える
菊田まりこ/著
白泉社

犬のシロは大好きなみきちゃんがいなくなってしまい、会いたくて探すが見つからず悲しくて目をつむると…。シロが悲しみを乗り越えるビュアな絵本。



イタチと野ネズミのはなし
山下雅洋/文
しもかわらゆみ/絵
アリス館

ある朝、イタチが目覚めると隣にいるはずの野ネズミがない。森の中を探しながら出会った頃のことを思い出す。森の中の命のつながりや出会いと別れを描いた一冊。



リメンバー・ミー
講談社/編
斎藤妙子/構成・文
講談社

ミゲルは音楽が大好きだが、家では音楽が禁じられている。年に一度の死者の日に呪いがかかってしまい、死者の国に行くことに。心温まる冒険と家族の物語。

日	月	火	水	木	金	土
1 雑誌 リサイクル	2 休館日	3 休館日	4	5	6	7 どう日の 図書館
8	9 休館日	10	11	12	13	14 どう日の 図書館
15 サンデー ロードショー	16 休館日	17	18	19	20	21 どう日の 図書館
22	23 休館日	24	25	26	27	28 どう日の 図書館
29	30 休館日	31 休館日	1	2	3	4



どう日の図書館 1階お話しコーナー / 午前11時から

おはなし会では絵本や紙しばいの読み聞かせを行っています。参加したお子さんには「スタンプカード」をお渡ししています。ぜひおはなし会にきてくださいね。

おはなし会

- 7日(土) たからばこ
- 14日(土) チームわたあめ(図書館員)
- 21日(土) 朗読クラブ いっぼ
- 28日(土) おはなしグループ コキユポット



サンデーロードショー 2階視聴覚室 / 午後1時30分から

ふしぎ駄菓子屋銭天堂

15日(日) 児童向けアニメーション 90分
幸運な人だけがたどりつける、ふしぎな駄菓子屋「銭天堂」。店主の紅子がすすめる駄菓子は、どれもその人の悩みにぴったりのもの。駄菓子屋「銭天堂」を舞台にした不思議な物語。